

秋田県災害福祉支援センター（仮称）検討委員会検討報告書の概要について

秋田県社会福祉協議会

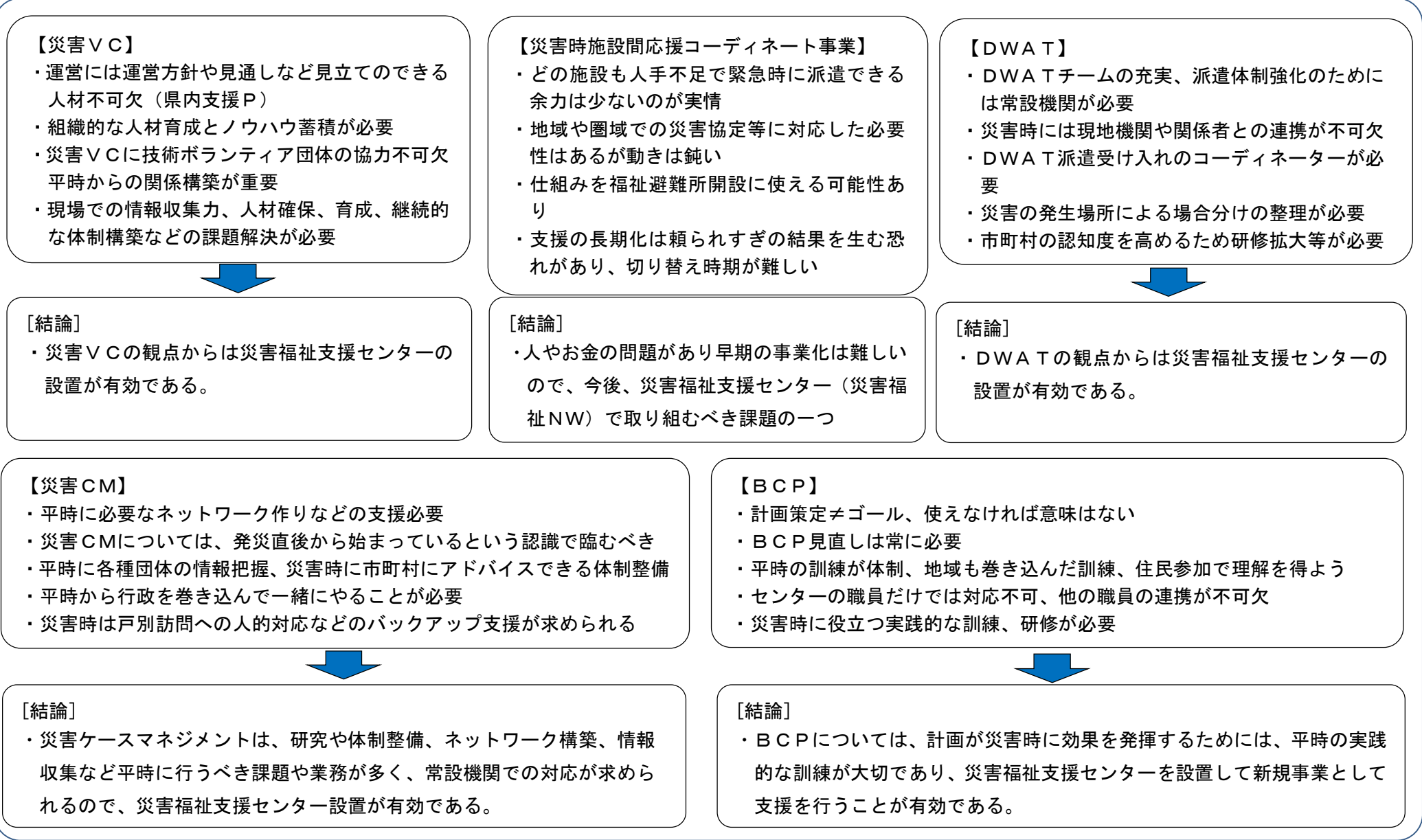
1 災害福祉支援センターとは

- （１）平時
- 行政や関係団体との関係づくり
 - 災害時に対応、活躍できる人材づくり
 - ＢＣＰや災害ＣＭなどの仕組みづくり
- （２）災害時
- 被災地社協災害ＶＣ立ち上げ支援、ＤＷＡＴ派遣
 - 被災市町村社協への応援職員の派遣、調整
 - 必要な資機材のニーズ把握 など

県名	災害ＶＣ	災害福祉 NW	DWAT 事務局	災害ＣＭ	個別避難 計画策定 支援	ＢＣＰ 策定支援	福祉防災 アドバイザー養成	防災福祉 教育、防 災活動支援
群馬県	○	○	○	○	○	○	○	
福井県	○		○			○		○
鳥取県	○	○	○	○		○		○
山口県	○	○	○					
福岡県	○		○			○		
佐賀県	○	○	○	○				
大分県	○		○		○			

- ・全国の設置状況は左図のとおり。
- ・災害ＶＣ、ＤＷＡＴは全ての県で実施
- ・ＢＣＰ策定支援多い
- ・福井県、山口県、佐賀県は本年４月に設置したばかり。

2 秋田県災害福祉支援センター（仮称）の保有する機能毎の検討結果（委員からの意見集約）



3 他県の災害福祉支援センターと秋田県災害福祉支援センター（仮称）の保有する機能等について（案）

県名	災害ＶＣ	災害福祉 NW	DWAT 事務局	災害ＣＭ	個別避難 計画策定 支援	ＢＣＰ 策定支援	福祉防災 アドバイザー養成	防災福祉 教育、防 災活動支援
群馬県	○	○	○	○	○	○	○	
福井県	○		○			○		○
鳥取県	○	○	○	○		○		○
山口県	○	○	○					
福岡県	○		○			○		
佐賀県	○	○	○	○				
大分県	○		○		○			
秋田県	●	●	●	●		●		

県名	職員数 管理職	職員数 専任	職員数 兼務	予算	うち人件費
群馬県	1	1	5	23,861	12,186
福井県	1	2	8	5,609	
鳥取県	1	3		37,783	27,104
山口県	2	1	2	9,800	6,537
福岡県	1	2		25,716	
佐賀県			5	なし	
大分県	1	1	4	24,555	15,186
秋田県	1	2		未定	未定

事業規模同様の他県を参考にすると、管理職（センター長）を含む３人程度の専任職員とその人件費が必要ではないか。

災害福祉NWで施設応援コーディネート事業についても検討を行う

- 【秋田県災害福祉支援センター（仮称）について】
- 実施事業としては、検討した５事業（災害ＶＣ、災害福祉NW、ＤＷＡＴ、災害ＣＭ、ＢＣＰ）で始めることが良い
 - 専任職員の人件費等の確保と国庫補助の有効活用などによる財源確保が課題
 - 市町村社協の保有資機材の把握など平時の取り組みによる効果が期待される役割がある
 - 行政や市町村社協、地域住民など様々な方の協力を得て運営していく必要がある
 - ＩＣＴ活用で業務の効率化を図り、効果的な運営を行う必要がある

- 【結論】
- 災害福祉支援センターを設置して平時から５事業を中心に活動をする必要がある。
- 〈基本理念〉
- 平時の備えと訓練が大切
 - 常設機関が不可欠 ○将来、防災教育も視野に
 - みんなの協力があってこそその支援センター